

病虫害発生予察情報

3 月月報

平成 19 年 4 月 12 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2007 年 3 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	15.2	4.1	4.3	2.5	9.9	3.4	5	22	65.6	120
中旬	12.5	0.2	2.0	-1.2	7.1	-0.6	18	52	78.2	148
下旬	17.7	4.2	7.2	2.7	12.6	3.6	44	74	63.1	121
平均	15.2	2.8	4.6	1.4	9.9	2.1				
合計							67	57	206.9	130

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年よりかなり高く,中旬はやや低かった。

降 水 量：上旬は平年よりかなり少なく,中・下旬は平年よりやや少なかった。

日照時間：月を通じて平年より多かった。

< 天候概況 >

上旬：高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過したため天気は周期的に変化した。

中旬：冬型の気圧配置になる日や移動性高気圧に覆われる日が多く,晴れの日が多かった。16日は低気圧通過のため東京で初雪を観測した。

下旬：高気圧と低気圧が交互に日本付近を通過したため天気は短い周期で変化した。

2 作物生育概況

(1)果菜類

半促成栽培のトマト キュウリの生育は概ね順調であった。果菜類等の苗は順調な生育を示した。ハウスのエダマメは定植後、低温の影響で一時的に生育がやや停滞したが、その後は回復し順調である。ハウス栽培のスイートコーンは概ね順調であったが、トンネル栽培では中旬の一時的な低温で生育が劣る傾向がみられた。

(2)葉菜類

施設および露地のコマツナやトンネル栽培のホウレンソウでは概ね順調な生育を示した。ノラボウ菜は生育が早まり旺盛で、収量も増加傾向となった。キャベツは定植後に一時的に低温の影響を受けたが、その後は順調に生育している。

(3)根菜類

トンネル栽培のダイコンの生育は概ね順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1)果樹の病虫害

特記事項なし

(2)茶樹の病虫害

カンザワハダニ

< 並 >

発生は平年並であった。

③ 野菜の病害虫

キュウリ(施設)

ワタアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

トマト(施設 抑制)

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
タバココナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

トマトナス・キュウリ(育苗)

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ホウレンソウ(施設,露地トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キャベツ

コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ	< 多 >	発生は多かった。
---------	-------	----------

イチゴ(施設)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。

(4)花きの病害虫(施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(5)鳥しょの病害虫

大島：施設栽培サヤエンドウでナモグリバエの発生が多かった。

小笠原：フタテンヒメヨコバイ：ハイビスカスで発生が多かった。

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報 ,発生状況 ,防除方法
などをお知らせしています。